

指定管理者制度導入施設の運営状況（令和元年度）

1. 施設名等

| | | | |
|-----|-------------------------------------|-----------------------|---|
| 施設名 | 大分県県民の森施設 (青少年の森、平成森林公園、神角寺展望の丘) | 所在地 電話番号 ホームページ | 大分市大字廻栖野 外 097-588-0656 http://www.oita-kenminnomori.jp/ |
|-----|-------------------------------------|-----------------------|---|

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

| | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|------------------------------------|
| 指定管理者 | 名称 所在地 指定期間 | 公益財団法人 森林ネットおおいた 大分市大字古国府字内山1337番地の15 平成31年4月1日～令和6年3月31日 | 県の所管部課 (局・室) | 農林水産部 森との共生推進室 TEL：097-506-3873 |
|-------|-------------------|---|-----------------|------------------------------------|

3. 施設の概要

| | |
|-------|---|
| 設置年月日 | 昭和60年 3月30日 |
| 設置根拠 | 大分県県民の森における公の施設の設置及び管理に関する条例 |
| 設置目的 | 森林の持つ優れた自然を生かして、保健、休養及びレクリエーションの場を提供し、森林に関する学習活動を促進し、その他森林の利用を増進することにより、県民の健康的な生活の確保を図るとともに、森林に関する県民の理解を深める。 |
| 事業内容 | <p>(青少年の森)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林及び林業に関する青少年の学習活動の指導を行うこと ・自然観察、オリエンテーリングその他青少年の野外活動の指導を行うこと ・森林レクリエーションに関すること <p>(平成森林公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車道、多目的広場等の施設を提供すること ・森林レクリエーションに関すること ・香りの森、香りの広場、キャンプ場、遊歩道、多目的広場等の施設を提供すること <p>(神角寺展望の丘)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林レクリエーションに関すること ・展望台、遊歩道、多目的広場等の施設を提供すること |
| 施設内容 | <p>青少年の森 … 展示館(480m²)、サイクリングセンター(311m²)、樹木園(9.5ha) 外</p> <p>平成森林公園… 香りの森(13.4ha)、香りの広場(1.27ha)、さくら園(4.18ha)、 全国植樹祭記念広場(1.5ha)、キャンプ場(1.7ha) 外</p> <p>神角寺展望の丘… 展望台(44m²)、ハイキング道(9,595m) 外</p> <p>その他 … 林道(41,975m)、サイクリング道(2,598m)</p> |
| 使用料等 | <p>(青少年の森)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車：一般310円、小中学生210円 ・レクチャールーム：(展示館)半日1,250円、一日2,500円、(サイクリングセンター)半日2,700円、一日4,700円 <p>(平成森林公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ入村者：一般420円、小中学生210円 ・テント：1,250円～4,350円、コテージ：11,000円、バンガロー：6,600円、ツリーハウス5,500円 |
| 閉館日 | 毎週月曜日（月曜日が休日の場合は翌日） 年末年始及びお盆（12月28日～1月4日、8月14日～8月15日） |

4. 目標指標の達成状況

| 指標 | 年度 | 目標数値 | 実績 | 達成率(%) |
|-----------|--------|------|------|--------|
| 施設利用件数(件) | 平成28年度 | 2000 | 3295 | 164.8% |
| | 平成29年度 | 2000 | 3738 | 186.9% |
| | 平成30年度 | 2000 | 4959 | 248.0% |
| | 令和元年度 | 3800 | 5872 | 154.5% |

5. 施設の利用状況

| 利用者数(人) | 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| | 平成28年度 | 25,479 | 16,402 | 20,629 | 14,378 | 15,673 | 14,949 | |
| | 平成29年度 | 37,959 | 20,175 | 16,014 | 10,474 | 11,242 | 9,707 | |
| | 平成30年度 | 34,710 | 18,171 | 15,344 | 9,511 | 12,459 | 9,850 | |
| | 令和元年度 | 28,126 | 15,543 | 12,141 | 13,441 | 7,053 | 13,614 | |
| | 年度 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 累計 |
| | 平成28年度 | 15,539 | 21,074 | 10,836 | 6,867 | 8,373 | 11,554 | 181,753 |
| | 平成29年度 | 7,851 | 16,511 | 8,145 | 6,139 | 6,121 | 12,016 | 162,354 |
| | 平成30年度 | 12,432 | 17,315 | 10,274 | 7,597 | 9,294 | 14,389 | 171,346 |
| | 令和元年度 | 13,817 | 16,729 | 9,767 | 7,072 | 9,232 | 6,182 | 152,717 |

6. 利用者満足度調査等の実施状況

| | | |
|----------------------------------|------|--|
| 利用者満足度調査 | 実施方法 | キャンプ場等利用者及び22のイベントにおいて参加者に調査用紙を配布しアンケート調査を実施した。 |
| | 実施結果 | <p>■キャンプ場利用者アンケート調査での結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度 …「満足」74%、「ほぼ満足」25%、「普通」1%、「やや不満」0%、「不満」0% ・キャンプ場の情報源…「ホームページ」65%、「リピーター」18%、「知人」10%、「事務所」2%、「チラシ」1%、「FB」1%、「新聞」1%、「その他」2% <p>満足度は「満足」、「ほぼ満足」と回答した利用者が99%と高い。</p> <p>■イベント参加者アンケート調査での結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度 …「満足」74%、「ほぼ満足」17%、「普通」7%、「やや不満」1%、「不満」0% ・イベントの情報源…「リピーター」19%、「新聞」19%、「知人」17%、「テレビ」14%、「チラシ」10%、「ホームページ」9%、「地域情報誌」4%、「雑誌」2%、「FB」1%、「その他」5% <p>満足度は「満足」、「ほぼ満足」と回答した利用者が91%と高い。</p> |
| 利用者等からの主な意見・要望・苦情 | | 左の対応状況 |
| 桜の開花情報を発信してほしい(花の見頃をネットで知らせてほしい) | | 開花状況をよりわかりやすくするために、ホームページの開花状況を写真に加えドローン撮影による動画のアップを検討する。 |
| 県民の森やイベントを知らない方が多い。もっとPRした方がいい。 | | 情報源に占めるチラシの率が2%(H28)、6%(H29)、10%(H30)、10%(R1)と上昇しており、29年度から始めたポスティングの効果が認められ、今後も実施予定。 |
| トイレは洋式があると、足の弱い高齢の母も連れてこれる。 | | R2年度にトイレ洋式化工事予定。 |
| | | |

7. サービス向上に係る主な取組内容

| | |
|-------------|--|
| サービス提供体制の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 青少年の森キャンプ場の廃止に伴い、不要となった森林学習展示館の宿直室の有効利用を図るため、フォトコンクール等の写真展示ギャラリーとして「森林のカフェ」を開設し、施設利用者への憩いの場として提供している。 ○ サクラやラベンダーの開花、紅葉の進み具合をはじめ、キャンプ場の予約状況など利用者の方が欲しい情報をできるだけ細やかにタイムリーにインターネットで提供するように努めた。 |
| イベント等の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ・指定管理で定められた14回、サービス改善提案事業に採用された3回のイベントのほか、さくら観賞祭・紅葉ウォーキングイベント等、自主事業でイベントを計画し、計22の主催イベントを開催した。 ○ ・「リース作り教室」ではイベント参加申し込みが多いことから、午前の部・午後の部と1日2回行い参加要望に応えた。 |

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | |
|-----------|------------|--------|--------|--------|--------|
| 収入額(A) | 83,704 | 83,145 | 84,289 | 83,431 | |
| 内 訳 | 県からの委託料 | 81,205 | 81,103 | 81,921 | 81,323 |
| | サービス改善提案事業 | 540 | 540 | 540 | 545 |
| | 自主事業収入 | 1,773 | 1,479 | 1,828 | 1,529 |
| | 雑収入 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他(自己財源) | 186 | 23 | 0 | 34 |
| 支出額(B) | 83,704 | 83,145 | 84,289 | 83,431 | |
| 内 訳 | 人件費 | 27,120 | 27,574 | 28,816 | 30,196 |
| | 維持管理費 | 51,635 | 51,035 | 49,903 | 47,841 |
| | 事業費 | 2,331 | 2,386 | 2,700 | 3,483 |
| | 自主事業費 | 1,870 | 1,410 | 2,306 | 1,365 |
| | サービス改善提案事業 | 541 | 630 | 564 | 546 |
| | その他(事務費) | 207 | 110 | 0 | 0 |
| 収支差額(A-B) | 0 | 0 | 0 | 0 | |

9. 施設使用料等の収入状況

| | | | | | | | | |
|----------|--------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-------|
| 利用料金(千円) | 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | |
| | 平成28年度 | 96 | 230 | 70 | 470 | 1,009 | 309 | |
| | 平成29年度 | 225 | 621 | 83 | 530 | 890 | 129 | |
| | 平成30年度 | 360 | 501 | 173 | 571 | 911 | 330 | |
| | 令和元年度 | 546 | 697 | 236 | 588 | 1,135 | 313 | |
| | 年度 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 累計 |
| | 平成28年度 | 146 | 113 | 16 | 7 | 14 | 31 | 2,511 |
| | 平成29年度 | 135 | 185 | 7 | 8 | 14 | 41 | 2,868 |
| | 平成30年度 | 162 | 245 | 18 | 32 | 21 | 41 | 3,365 |
| | 令和元年度 | 376 | 260 | 45 | 26 | 58 | 1 | 4,281 |

10. 指定管理者の管理体制

| | | | | | | | | |
|--------|-------------------|------|-----|----|--------|------|-----|----|
| 施設管理体制 | | | | | | | | |
| | 職員数 (H 31.4.1) | 正規職員 | パート | 嘱託 | 他社から派遣 | 臨時職員 | その他 | 合計 |
| | 2 | | 1 | | 4 | | 7 | |

11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

| | |
|-------------|--|
| 職員の資質・能力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「九州自然体験施設ネットワーク」が開催する交流会に参加し、施設の運営・管理をはじめとした共通課題やその対策等についての意見交換等を通じ、円滑な施設運営やPR手法等についてのノウハウの蓄積に努めている。 ○ 他県の県民の森に職員を派遣し、アトラクションやイベントの開催状況等を調査し、本県県民の森の運営に活かせるような情報収集に努めている。 ○ 新人の管理員に刈払機取扱い作業者に対する安全衛生教育の講習を受講させ、管理業務の安全確保のための知識や技術の習得を図っている。 ○ 県が実施した人権研修に本所職員とともに職員1名を参加させ、復命を通じて全職員の人権意識の向上に努めている。 |
| 防災に関する研修・訓練 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 万一の火災や災害時に慌てず適切に利用者の安全確保ができるよう、全職員(7名)を対象に消防・防災の訓練を年2回実施している。 ○ 防災士の有資格者が中心となって主要幹線沿いの危険箇所の調査を職員合同で実施し、防災に関する意識や知識の向上に努めている。 |
| 安全対策等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県民の森区域内での交通事故を防止するため、週2回(火・金)道路を含めた施設全体のパトロールに加えて、施設間の移動時に道路の転石や崩土の除去を行い、利用者が安全に通行できるように努めた。 ○ 舗装道路の亀裂や路肩の陥没などの異常を発見した場合は、即座にカラーコーンや注意喚起の表示を掲示するなど補修工事にかかるまでの間の注意喚起による安全対策を実施している。 ○ 管理道路・遊歩道等については枯木・枯れ枝による倒木・落枝防止の為、定期的なパトロールにより早期発見に努め、確認後は優先度合いにより除去作業を実施し、利用者の安全確保に努めた。 ○ 大雨警報等が発表された際には、速やかな現場の状況把握に努め、県に状況報告や協議などを行い、管理道(林道)のゲート開閉等を適宜実施し利用者の安全確保を図っている。 |